

Weekly Report 2023-2024



創立 1969年4月14日
承認 1969年4月23日
チャーターナイト 1969年11月9日
発行 IT・広報委員会

世界に希望を生み出そう

会長：磯崎裕騎 / 幹事：吉岡哲哉 / 副会長：村上義憲 / 会長エレクト：江島繁夫 / 副幹事：岩本達也 / S.A.A: 堀井実

今週のプログラム		第2568回	9月8日
クラブフォーラム			
担当者	S.A.A.		例会場 JRホテルクレメント高松

先週のプログラム		第2567回	9月1日
クラブフォーラム			
担当者	会長・幹事		例会場 JRホテルクレメント高松



磯崎会長挨拶

・ 今期2回目の夜例会です。
梅雨の時期には今年というか例年になりつつある集中豪雨です。今年も鳥取や九州をはじめ、各地で線状降水帯が発生し被害が出ました。高松西ロータリークラブと友好縁組を組んでいる秋田、矢島ロータリークラブは秋田県由利本荘市にあり7月の記録的豪雨により激甚災害指定を受けるまでの被害が発生しました。先般、矢島ロータリークラブとやっと連絡が取れて事務局の方とお話することができました。彼女によれば会員がいる地区では被害はなくて会員にも何もなかったと言うことですが、下流の市内では相当な被災があったようです。ともあれお見舞い金を送るよう手配を致しておりますこと報告させていただきます。
また先週の例会後に村上財団委員長と一緒にNPO法人まんまるサポートの代表の大廣さんに面談して参りました。高松西ロータリークラブからの援助に感謝して頂けました。これについては後で説明させていただきます。
さて、今日は今期初のクラブフォーラムです。後ほどご

案内しますがたくさんの協議事項がありますので今日1日で結論づけるものではありません。お知らせがメインとなりますがしっかりと持って帰って頂きよ会員の皆さんにも考えて頂きたいと思ひます。どうぞよろしくお祈いします。

吉岡幹事報告

ロータリーの友 9月号 お読みください
回覧 高松南ロータリークラブ活動報告書

メイクアップ

- 8月29日 2720 Japan O.K. ロータリークラブ 大島
- 8月29日 観音寺RC 岡田
- 8月30日 高松南RC 藤田

facebook

facebook でたくさんの写真を公開
していますのでぜひご覧ください。



<http://www.facebook.com/TakamatsuWestRC>

9月8日 今日は何の日	今日生まれの有名人
サンフランシスコ平和条約記念日/国際識字デー 1945年 米軍のジープによる東京進駐開始 1951年 日米安全保障条約、調印	1968年 服部道子 1963年 松本人志 1960年 鈴木亜久里 1960年 紺野美沙子 1938年 堀江謙一 1841年 ドボルザーク
誕生花 藤袴(フジバカマ)、花言葉は“ためらい”	
誕生石 トパーズ(topaz)、宝石言葉は“希望”	

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我らの業
望は世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永久に栄えよ 我等のロータリー



ニコニコBOX

会社設立しました。石川さんお世話になりました。磯崎
遅くなりましたが、家族例会で子ども達が大変お世話堀井
になりました。
遅刻 1件

合計 3 件

本日の合計 20,500 円

2023-2024 年度累計 216,500 円

出席報告

出席委員長：低田陽介

会員数 /	41 名	出席規準数 /	38 名
出席者数 /	23 名	欠席者数 /	15 名
出席率 /	60.53%	ビジター /	0 名
最終出席率 /	8 月 4 日	76.92% →	87.18%

RI 会長からのメッセージ (9 月)



平和の実践

ゴードン R. マッキナリー
2023-24年度 国際ロータリー(RI)会長

9 月 21 日は「国際平和デー」です。国連総会はこの日を、24 時間の非暴力と停戦を実践することで平和の理念にささげる日と宣言しました。

しかし、行動人たる私たちにとって、戦争を回避するだけでは十分ではありません。世界に希望を生み出すには、積極的に平和を訴えていかなければなりません。

では、どこから始めたらよいのでしょうか？ 世界ではあちらこちらで武力紛争が発生しており、避難民の数はかつてないほど増加しています。支援の機会は無数にありますが、暴力と苦難の連鎖も終わりが無いように見えます。

私からのアドバイスは、大きく考えながら小さく始めることです。2020 年 3 月の、国家間では緊張関係にあるパキスタンとインドのロータリー会員の行動がインスピレーションを与えてくれます。

パキスタンとインドからそれぞれ約 50 人のロータリー会員が、パキスタンにあるカルタルプール・サヒブ寺院で会合を持ちました。ここは、両国で信仰されている宗教であるシーク教の創始者、グル・ナーナクを祭る寺院です。両間の緊張により、インドからの多くの宗教巡礼者が長らくこの寺院を訪れることができませんでした。しかし、パキスタンは 2019 年、ビザ不要で巡礼できる回廊を築いたのです。今年初め、両国のロータリー会員が、再度、この寺院で会しました。その参加者数は約 2 倍となりました。

平和を築く取り組みには、勇気と大胆さが必要です。かの国のロータリー会員が行ったことはまさにこれに当たりす。コロナ下でしたが、パキスタン政府は、インド人巡礼者をカルタルプール・サヒブ寺院に招くことで、平和に向けて重要な一歩を踏み出し、パキスタンのロータリー会員も、インドからのロータリー会員を友人や家族として歓迎し、次の一歩を踏み出しました。これこそ、積極的平和の実践です。

平和構築者たちはここで満足したわけではありません。今年の集まりでは、クラブの代表者が、お互いの国について学び合うための長期的なコミットメントを示すため、双子クラブの締結に調印し、さらなる平和構築活動のために協力していく決意を示し、ビデオチャットで合同例会も開きました。

異なる文化圏の人たちとコミュニケーションを取り、その特色を学ぶことは非常に大切なことであり、ロータリーを通せば、こういったつながりを簡単に築くことができます。国を超えた異文化間の関係を構築する方法の一つは、現行のプログラムを利用し、バーチャルな手段で意見を交換することです。

バーチャル交換では、世界の異なる地域の人々がより容易につながり、自国の伝統、考え方、価値観などを紹介し合うことができます。バーチャル交換によって、世界への扉がさらに開かれ、料理教室、外国語の習得、グローバルなインパクトをもたらす奉仕プロジェクトの立案などを行うことができるでしょう。

これらのオンラインでの交流は、新たなつながりを生み、異なる社会を尊重する機会となります。そこで学んだ知識を取り入れ、人類のために生かしていくことが次のステップです。

このツールが私たちに何をもたらすかが楽しみです

ポール・ハリスの言葉 ロータリー情報委員会 加藤和理

3. 好みに合うことをすれば良い

He is not concerned so much with the question as the service is to be, as he is with the question whether or not Rotary is to make good its high sounding slogan, "Service above Self".

どんな奉仕をするかについてはさして関心を持たない。それより問題はロータリーが高唱する「超我の奉仕」を成し遂げるか否かだ。

これに続けて彼は、どんなことであれ役に立つ努力をしているのに、これをやめろとは言わない。それぞれ土地の事情があり、会員個人の好みもある。それに一番適合した様に選択の道を委ねるのが最良の結果を得ることになると信ずる、と言うのである。そしてまた、自分ももしイギリス、フランス、ドイツ、ベルギー等の人達と同じ経験を持っていたら、恐らく good-will ということを目ざして外のことには眼もくれなかったろうし、反対に産業に従事して悲惨な経験をしたら、私の関心はあげてこの業界問題になるだろう。また多くのロータリアンの中には、善きサマリア人の如く行き倒れの人に温い手をさし伸べる人もあろうし、次代を担う青少年の為に尽くすことこそロータリーの使命と考える人もあろう。何れを是、何れを非とするものでもない、というのが彼の立場である。

こういう柔軟な考え方に照らしてみると、どうも最近では軽重、是非の論議が多すぎる様な気がする。たしかに色々のクラブがあつていいのだ。色々の傾向の人がいていいのだ。世の中の役に立つことだったら、自分の一番好きなことをやったらそれでいい。

次週のプログラム

第 2569 回

9 月 15 日

新入会員卓話「経営コンサルタントになってわかったこと」白川会員

担当者 プログラム委員会

例会場 J R ホテルクレメント高松